

地震は予知できるのか？

地震予知は、「いつ」「どこで」「どのくらいの」地震が発生するかを予め知ることであり、この3つを正確に知ることは現在の科学技術では不可能です。つまり、「地震は予知できない」のです。

予てより話題となっている「南海トラフ巨大地震」は、「40年以内に90%の確率で(いつ)、西日本から東日本において(どこで)、最大震度7クラスの(どのくらいの)地震が発生する」と言われています。これは、過去にこの地域において一定の周期で大きな地震が発生しているからという根拠からなるのですが、あくまでも「過去の大地震の周期からある程度はわかる」というレベルの話であり、予測なのです。

一方で、「緊急地震速報は地震予知なのでは？」と考える人もいますが、[緊急地震速報](#)は地震の発生後に発表されるので、地震予知ではありません。しかしながら、[緊急地震速報](#)が発表されてから数秒～数十秒後には本格的な揺れが始まるので、揺れを予め知ることが

年代	南海トラフの過去の地震
684年	白鳳(天武)地震
887年	仁和地震
1096年 1099年	永長東海地震 康和南海地震
1361年	正平(康安)東海地震 正平(康安)南海地震
1498年	明応地震
1605年	慶長地震
1707年	宝永地震
1854年	安政東海地震 安政南海地震
1944年 1946年	昭和東南海地震 昭和南海地震

出典：地震調査研究推進本部

できると言えます。たった数秒ですが、それだけあれば揺れに対して身構えることができ、避難行動が素早く行えるでしょう。

ちなみに、地震の前兆として「地震の前には地震雲が出る」、「地震の前にはナマズが暴れる」などの現象はいくつか言われていますが、どれも理屈が正しく感じるだけで科学的根拠はありません。

さて、現状では「地震は予知できない」のですが、できないことは悪いことではありません。多くの人が、地震が予知できないからこそ、家を丈夫にしたり、災害用の備蓄をしたり、避難について家族で話し合ったりと目の前のできることから地震対策を行い日々備えています。いつ可能になるかもわからない地震の予知に期待を持つのではなく、今日、明日にも大地震が起こるかもしれないと**危機感を持って備えましょう。**

〈防災士 荻野勝也〉